

研究室名

棚本研究室 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	2021年 第68回応用物理学会春季学術講演会（オンライン）
演題名	バス遅延問題に対する機械学習を利用した解析
発表者	関口 晴陽、織茂 颯汰、川上 大晴、棚本 哲史
内容	都市部のバスでは、様々な要因で遅延が生じ、通勤通学のストレスになりやすい。特に降雨時などのように交通の乱れが大きい場合、バスが停留所に定刻通りにつかず、来たと思ったらバスが連なって到着する(団子バスと呼ぶ)。これまで、高速道路の渋滞などは多くの解析がされてきたが、本報告では循環バスをモデル化し、簡単なシミュレーションを行った。そして、機械学習によるイライラ解析を行ったので、その結果を報告する。